

参考資料：教材画像資料「難聴者のきこえ方なんなん？(1本)」「こまりごとなんなん？(全6本)」

1. 「きこえ方なんなん？」では、アニメーション・音声・ルビ付き字幕を用い、代表的な難聴の聞こえ方を紹介します。補聴器をつけていても雑音で聞き取りにくいなど、誤解されやすい実態を映像で可視化し、子どもたちが多様な聞こえ方を理解するきっかけとなります。

▼伝音難聴と感音難聴の特徴と、補聴器の効果について(監修：一般社団法人 言語聴覚士協会)



2. 「困りごとなんなん？」では、教室や休み時間など日常のシチュエーションに沿った様々な困りごとをアニメーションで描いています。見るだけでは気づきにくい困りごと、ヒントで着眼点を示すことで子どもたちが自然に理解を深められる内容になっています。

▼授業編 授業中にクラスのお友達が色々な所から話をしても分からないという状況。「なぜ分からないのか」を子ども達に考えてもらう。(例：後ろからの声は分からない。口元が見えない位置にいる。席が遠いと声が小さくなって分からない。など)その後授業では、映像をきっかけに困りごとの解消方法を話し合う構成となります。

